

かみじま歴史探訪

郷土の先輩たちシリーズ③

初代弓削商船学校校長 小林善四郎

明治三十四年に、村立の弓削海員学校に着任した校長の月給は百円でした。この地域では破格の給与です。それだけの経歴でもありました。安政六（一八六九）年、旗本の力石家の四男に誕生、すぐ御家人の小林家の養子に迎えられ、養父の任地、新潟で成長。明治五年には新潟英語学校に進み、その後明治十年に三菱商船学校（東京商船学校、同高等商船、同商船大、現東京海洋大の前身）の二期生として入学しました。当時、校舎は未完成で、隅田川の河畔に係留されていた成妙丸が教室であり、寄宿舎でもありました。明治十四年に同校を卒業すると、三菱会社の汽船に士官心得で乗船、月給は二十五円でした。

その後、明治十七年には創設されて間もない大阪府立商船学校の教官に招かれて勤務、明治二十一年には校長心得（月給四十円）となりました。でも、翌年には、この学校は廃校にされ、官立の東京商船学校の大坂分校に変身し、善四郎はその分校長となりました。この大坂分校も明治二十九年には廃校となり、善四郎は日本海員援済会の阪神支部の幹事に任命され、同会の神戸高等海員養成所の教官として勤務しました。月給は六十円、翌年から七十円でした。

この小林校長について同校の八期生中辻守之助は次のように寄稿しています。「初代校長の小



初代小林善四郎校長

林善四郎氏は江戸川の聖人といわれていた敬宇中村正直の甥であった。：戊辰戦争のときに、白虎隊の入隊を拒まれ、自宅に帰り切腹寸前に母者にとめられたという人：」（『グラフィック』一九八〇年二月号、読者のポスト）しかし善四郎の長女愛子さんは「年齢から言っても白虎隊の件は誤伝でしょう。ただ、正

直さんと父は深い血縁であり、一時、小林家に寄宿していた」と語られたことがありました。ロンドンに留学し、キリスト教の信仰を深めた中村正直同様な傾向を善四郎ももっていたらしい。同校の『六十年史』には、次のような回想が見られます。

「小林校長は雷おやじであった。カンツウシイザエス（Can't see the sun）と怒鳴られなかった生徒はただの一人もいないであろう。：大阪商船学校より譲り受けた陸上帆船の保管にも勉められ、東京商船学校大阪分校の切り株の芽のごとき学校で：古き書籍、スタンダードコンパスに至るまで総て大阪からの譲り受けである」（第十期生、大正五年卒、神野琢磨）また菅友一（第九期生、大正一四年卒）も「校長と呼ばずに親爺と呼んでくれることを喜ぶ性格：毎土曜日の晩には全校生を講堂に集めて懇話会：最後に讃美歌：を合唱して散会する。宣教師ビッケル船長、ステッドマン氏等を月に一度は必ず懇話会に呼んで会話の練習：山鹿素行、吉田松陰の建国講義に夢中の反面には、社会主義者の賀川豊彦を招いて講演さす：」と回想している。

招かれたバプティスト教会の伝道船福音丸の船長の伝記『島々の伝道者―ビッケル船長の生涯』（キリスト教新生会発行）の「島の物語Ⅱ」には、「小



弓削海員学校 開校記念

林校長」と題して次のように記されている。「一体どんな講演をしたらよいのか迷った。：宗教について語ることは禁じられていたからである。：彼は叫んだ『あなたはキリスト教の先生として知られているのですから、キリスト教の話をしてください。それが生徒のためになります。』：そしてこの二人の船長、学校と船の間は深いきずなで結ばれていた。」

航海術の習得で練習船の代役を果たしたのが、大型カッターによる訓練です。第二十三期生の福井太郎は、やはり『六十年史』に次のように寄稿しています。「：大型のボート二隻で神戸に旅行した。往復二百余哩を二週間の予定で航破：和田岬をまわって国際港神戸の威容に接した時の感激が忘れられない」

鍛えあげられた卒業生たちは、海運界でも高く評価された。けれども、間もなく勃発した第一次大戦では、地中海を航海中の実習生がドイツ潜水艦の犠牲となり、太平洋戦争では百名を超す卒業生が犠牲となります。校庭に建てられている招魂碑が悲劇を語り伝えています。その間に小林善四郎は大正九年に退職、昭和五年に逝去、その墓碑は卒業生によって西宮から弓削島の自性寺に移され、地元の教育者として奮闘された息女愛子さんと共に眠っている。



初代小林校長のお墓（自性寺）

弓削商船高専・岡山商科大学名誉教授

村上貢 稿

A・L・T (外国語指導助手) コーナー

岩城のALTのジャスティンです。今回、食事について話したいです。

日本に来て以来、日本食にかなり興味を持つようになりまし。日本に来る前に、日本食が良いという事を知っていましたが、食べたいと思いませんでした。だけど、日本に着いた後で、食べたくなりました。オーストラリアにも日本食のレストランがあるけれど、味は本物の日本食と違うと思います。特に寿司やさしみは日本ほど新鮮ではないです。また、回転寿司もありますが、ネタの種類は多くはないです。だけど、そういうレストランは若いオーストラリア人にとって大人気です。オーストラリアに住んでいた時、あまり米を食べませんでした。だから、日本で毎日米を食べる事に慣れるのにけっこう時間がかかりました。一般的に日本人は外国人より野菜を食べると思います。しかも日本食は洋食より健康的で、サイズはもっと小さいです。初めて日本でマクドナルドに行った時、ハンバーガーはとても小さいと思って、びっくりしました。ハンバーガーを5個食べないと満足できませんでした。

最近色々な物を食べるのが好きになりました。例えば、お好み焼きが好きです。初めて食べたのは大阪で、最近広島焼きも好きになりました。週末いろいろな所のレストランに行くのが好きです。

今年の正月休みには大阪に行ってきました。四月の春休みには東京へ行くつもりです。そこで違ったレストランに行ける事を楽しみにしています。



私は特に居酒屋に行くのが好きです。オーストラリアでは、居酒屋みたいなお酒を飲みながら食べられる場所がありません。オーストラリア人はたいてい晩ご飯を食べて、その後違う所でビールを飲みに行きます。だけど、私は友達と食べながら飲むのが楽しいと思って、居酒屋が好きです。夜はたいてい自分で料理をしますが、簡単なものしか作られません。ある日オムライスを作ろうとしましたが、結果はあまり綺麗じゃなかったです。洋食も作りたいたいが、この辺に材料が見つけないです。だから、今年日本食を作るようになりました。甘い物はオーストラリアと日本で違います。オーストラリアでは、ケーキやチョコなどがとても甘いですが、日本ではそんなに甘くないです。しかも、和菓子は季節によって、たくさん違う種類が出てきます。今は春で、桜の味の物がたくさんあります。海外では、季節的な食べ物が多いので、そういう物はとても面白いと思います。

私の両親は、今年日本に来たいと思っています。日本食に興味を持っていますが、母親は生魚を食べた事がないので、寿司を食べるのが怖いと言っています。私は両親に日本食を紹介してあげたいです。もし好きになったら、私は嬉しいです。

各地区の英会話教室

《弓削》	毎週水曜日 19:30	弓削中央公民館
《生名》	毎週火曜日 19:30	生名公民館
《魚島》	毎週水曜日 9:00	〃
《岩城》	毎週木曜日 20:00	生活文化センター
《魚島》	毎週水曜日 19:30	魚島開発センター

こんにちは 町長です



3月14日は朝から今治市での出初式があったので、いきなり一周マラソンの参加は途中からになりました。

ゴールする選手一人一人が個性豊かで、その笑顔は光り輝いていました。

各地から、幅広い年齢層が出場してくれています。その中でも遠路参加してくれている宇和島東高校の選手は、愛媛県を代表する実力を持ち、本大会でも成績上位を独占しました。

しかし、私がそれ以上に感心したのは、ゴール後の選手の行動でした。そろいのジャージに着替えた生徒は、疲れているにも関わらず銘銘が袋を持ってグラウンドのゴミを拾い、玄関のマットの埃を落とし、体育館の床掃除を始めました。

優勝しても驕ることなく、使用したグラウンドに感謝する生徒達。全力で走る姿以上に、子ども達の目標として爽やかな風を残してくれました。

上島町の公園や道路において、町民一人一人がゴミを拾えば、全体で約七千七百個のゴミが一度になくなります。

町民のみなさん、高校生に負けないよう、今まで以上にふるさとに感謝する気持ちを持ち続けましょう。

上島町長

上村 俊之